



新風会  
本田 順也  
議員

### ▼当初予算の新規事業について

Q 島原情報マイスター養成講座はどのような内容なのか。

A フェイスブックなどを利用し、地元ならではの情報を発信する達人を養成し、地域の魅力アップ及び市民の情報発信力、IT活用力の向上を目指すものである。全市民を対象としており、使用する機材は市で準備する。

Q 校庭芝生化について、維持管理はどのように考えているのか。

A 鳥取方式と呼ばれるイネ科の植物の性質を利用する。摩耗や雑草にも強く、回復が早い品種で、水まきは必要だが、子供の安全面を考慮し、防虫剤や除草剤も使用しないため、コストは抑えられる。

### ▼当初予算の事業について

Q 男女共同参画を推進されているが、現代社会においては男女それぞれの役割を明確にすることが必要だと考えるがどうか。

A 男女共同参画社会とは、男性と女性が支え合い、相互理解し、それぞれが意欲と能力を発揮できる社会を目指しているというものである。男女の役割もあると思うが、今後も認知度向上を目指して、啓発活動に取り組んでいきたい。

Q 市民体育祭は市民の意向に沿った内容で実施されているのか。

A 年に一度、多くの市民がスポーツに親しみ、親睦、融和を図ることを目的に開催している。実行委員会等、各地区の意見も聞きながら、より参加しやすい大会になるよう改善し継続していきたい。

### ▼小・中学校の部活動について

Q 部活動における体罰についての見解は。

A 部活動に限らず、いかなる場、いかなる理由があろうとも体罰は決して許されない行為である。

Q 本市では適切に指導がされているのか。

A 本市においては部活動における体罰が行われたとの報告は受けておらず、適正に行われていると思っている。

### 【その他の質問項目】

◇島原市の雇用問題について



庶民の会  
種村 繁徳  
議員

### ▼TPP問題について

Q TPPに参加した場合、島原市の農産物における損失額はどれくらいになるのか。

A 県の試算では、米が一億六千万円、牛乳・乳製品が十億円、牛肉が五億二千万円、豚肉が二十三億九千万円となっている。本市に該当する八品目の合計では四十五億九千万円の減少額となり、全体の約三十%減少となる。

### ▼市営住宅整備事業について

Q 市内に市営住宅は何戸あるのか。

A 現在行っている萩が丘住宅の第六期工事が完成すると、全部で九百四十戸となる。

Q 人口減少や財政状況を踏まえて、二十六年に計画されている第八期工事は見直す必要があると思うがどうか。

A 老朽化している市営住宅や、人口の減少、民間アパートの状況など、総体的に検討して年内には結論を出したいと考えている。

### ▼本市の財政状況について

Q この数年、大型の公共事業が続く、市の一般会計予算は年々増大している。基金の取り崩しや起債など、今後の予算編成において、見直すべき点があると思うがどのように考えているのか。

A 平成二十八年から交付税が段階的に縮減され、市税収入の伸び悩みが続くことが予想される一方で、高齢化による社会保障関連費用の増を初め、市庁舎や汚泥再生処理センターの整備、防災行政無線の更新などの大型事業が控えている。厳しい財政状況の中、コストダウンを図りつつ、行財政改革に取り組み、効率的な財政運営に努めていかなければならない。

### ▼大手広場駐車場について

Q 大手広場の駐車場は近年、赤字経営が続いているようだが、今後の運営方法はどのように考えているのか。

A 大手第一駐車場については、土地開発公社による有料駐車場として管理されてきたが、単年度収支では赤字の状況が続いている。そのような状況の中、先般開催された土地開発公社の理事会において、二十四年度末で公社運営による有料駐車場を終了することが決定されており、今後は、図書館利用者、のりかき場として活用したいと考えている。